



「福澤育林友の会」ニュース

第45号 発行日2024年1月10日

福澤育林友の会
東京都港区三田2-15-45 慶應義塾管財部
TEL:03-5427-1050 FAX:03-5427-1190
<http://ikurin.jp/>



「2024年の新春を迎えて」

福澤育林友の会
会長 岡田 英史
(慶應義塾常任理事)



皆様におかれましては、今年は4年ぶりに行動制限もなく、よき新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、塾生諸君の様々な活躍が話題になりました。とくに、塾高野球部が全国高校野球選手権大会で107年ぶりに優勝し、大学も東京六大学野球秋季リーグ戦で優勝、さらに明治神宮野球大会で優勝して日本一となったことは強く印象に残っていることと思います。三田の図書館旧館にある塾史展示館では、夏の甲子園の深紅の優勝旗、東京六大学野球の天皇杯、そして神宮野球大会の優勝旗が揃って展示されています。まだ、ご覧になっていない方は、是非、三田キャンパスに足をお運びください。

慶應の森での塾生の活動も増えてきました。南三陸の志津川山林では、みなさんmiraiプロジェクトの合宿研修が実施され、製材所の見学や2019年で終了した南三陸プロジェクトで整備された遊歩道の状況の視察などが行われました。また、環境情報学部の一ノ瀬研究室が、森林の二酸化炭素吸収量を推定するためのドローンによる空撮や、生物多様性をモニタリングするための調査を開始しました。昨年からは始まった「慶應義塾SDGs会議 一塾生会議」においても、SDGsの目標である「13. 気候変動に具体的な対策を」、「15. 陸の豊かさを守ろう」などへの取り組みとして、慶應の森への関心が高まっています。参加2年目の塾生を中心に、慶應の森の情報を多くの塾生に知らせることを目的としたプロジェクトが始動しており、今年は志津川山林や三重県志木の森などで活動することを予定しています。

福澤育林友の会の活動も、昨年11月に研修旅行と懇親会を実施できたことで、ほぼコロナ前に戻りました。今年が皆様にとって良い年となることを心よりお祈りするとともに、引き続き福澤育林友の会へのご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

「福澤育林友の会研修旅行 株式会社長谷川萬治商店 館林事業所見学会開催」

事務局 野見山 奈穂子

2023年は、長いコロナ禍が明け、福澤育林友の会の活動もいよいよ再開をすることができる年となりました。2022年の年末に、「森を愛する人々の集い」の開催について検討をしていた際には、飲食を伴う懇親会の開催は可能なのか、さらには研修旅行を再開することは可能なのかと議論をしていたことを思い出します。今回の研修旅行の開催は、「森を愛する人々の集い」の懇親会の中から実現に至った経緯があり、実際に皆様と顔を合わせて縁を繋いでいくことの大切さを感じる機会となりました。コロナ禍の間に事務局の担当者も総入れ替えとなり、新担当にとって初めての研修旅行の開催です。日帰り開催ではありましたが、無事に実施することができました。開催に際してご協力いただきました(株)長谷川萬治商店の皆様、ご参加いただいた皆さまに深く御礼申し上げます。

晴天の11月30日(木)、東京駅至近のバスターミナルから館林行のバスが出発しました。岡田会長のご挨拶の後で、(株)長谷川萬治商店 長谷川様より、会社概要と館林事業所に関するご説明をいただきました。2016年の研修旅行として『横浜初等部・湘南藤沢キャンパス巡り』がありましたが、その時に見学をした「未来創造塾」についても監督・監修をいただいているということでした。高速道路を利用した移動はあっという間で、1時間半ほどで群馬県館林市に到着です。ランチは地元の人気店「福よし」さんのとんかつ定食。群馬の上州麦豚を使用しているということで、とても柔らかくジューシーで、ボリューム満点です。とても美味しく、皆さんあっという間に平らげてしまいました。腹ごしらえ後は、いよいよ館林事業所での見学会です。スタッフの皆様にご案内いただき、まずはセミナールームにて長谷川様と工場長の五味様からレクチャーを受けました。ベルトコンベア式の作業から、セル方式の作業様式に変更することで、担当者ひとりひとりがやりがいと責任をもって仕事に取り組むことができるようになったというお話は特に印象的でした。レクチャー後はヘルメットとトランシーバーを装着して、いよいよ作業場へ移動です。ドアの先に広がる作業場は圧巻の広さと天井の高さ。作業内容によりセクション(セル)分けされており、それぞれの部門について丁寧にご説明をいただきました。

見学後はおしゃれなワークスペースへ移動し、木のある暮らしの研究所「MOKULABO」について若手社員の皆さまが説明してくれました。その後はアロマスプレーを作るワークショップを体験。産地や木の種類によって香りが全く異なる精油を好みの割合でブレンドし、オリジナルのアロマスプレーが出来上がりました。どこにいても森を感じることもできる、素敵なお土産となりました。

その後、東京は深川の「萬壽庵」にて懇親会を開催。お蕎麦のコースに特別に鰻もつけていただき、美味しいお酒とともに参加者同士の懇親を深めました。日帰り旅行ではありましたが、皆様のご協力のもとぎゅっと内容のつまった研修旅行となりました。懇親会の際、2024年以降の旅行についてもいろいろなご意見が寄せられました。行先、時期についても検討段階ではありますが、学び、楽しむことのできる研修旅行を計画したいと思います。2024年度のイベントについても、皆様のご参加をお待ちしております。



①榎長谷萬・山口様の説明を聞く見学者。広大な作業所の各セクションを丁寧に解説してくださりました。



②材木のストックヤード。日本各地のみならず、海外の材木も積まれた圧巻の空間。



③アロマスプレー作りには若手社員の皆さまが対応してくださいました。



④香りの割合は自由に、みんな少しずつ異なる出来上がりです。



⑤懇親会は東京に戻り、下町・深川のお蕎麦屋さん「萬寿庵」にて。お店は木材を活かしたとても素敵なしつらえでした。写真に写っているのはウォールナットの壁で、反対側の壁面には伝統技術を活用した木製のオブジェが設置されていました。

美味しいお料理とお酒をいただき、会話も弾みました。ご参加いただきました皆さま、有難うございました。

2024年度の研修旅行も現在検討中です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

事務局よりお知らせ

《2024 年度開催予定のイベント》

■森を愛する人々の集いについて

2024年度の「森を愛する人々の集いについて」シンポジウム詳細に関しましては、下記の内容にて調整中です。詳細が決まりましたらホームページにてお知らせいたします。

時 期：2024年6月1日（土）15時頃より
場 所：慶應義塾大学 三田キャンパス 東館6階 G-Lab.（予定）
講 師：三柴 淳一 氏（FoE Japan（エフ・オー・イー・ジャパン））

演 題：減少・荒廃する世界と日本の森林
～自分事として考えたい、今私たちができること

世界の森林は依然として減少しています。その主な要因は農地開発や資源採掘事業などです。国際社会は森林減少を止めるために木材・木材製品のみならず、パーム油やカカオ、牛肉といった商品作物を対象に規制をかける方向に踏み出しました。

一方、日本の森林資源は有史以来最も充実していると言われますが、その多くは管理が行き届いておらず、集中豪雨により頻発する土砂災害の遠因とも言われています。減少・荒廃する世界と日本の森林問題に対して、「自分事」として私たち日本人は何ができるのか、NGO視点からお話します。

※講演会終了後、三田キャンパス内 ファカルティクラブにて懇親会を開催予定です。

※お申込みなど詳細は追ってホームページにてご案内させていただきます。

■研修旅行について

2024年度の研修旅行については現在検討中です。

2023年度と同じく、秋頃の実施を予定しておりますが、最新情報については、福澤育林友の会ホームページ(<https://ikurin.jp/>)にてお知らせをいたします。

事務局のある慶應義塾三田キャンパスは出勤と在宅勤務を併用しております。ご連絡等につきましては、メール(f-ikurin@adst.keio.ac.jp)にて頂戴できますと幸甚に存じます。



2024年もどうぞよろしくお願いたします。